



## News Release

## 新型コロナウイルス感染症によるFP実務への影響に関する意識調査

## コロナ禍におけるファイナンシャル・プランニングの現状をCFP®認定者983名が回答

日本FP協会(所在地 東京都港区、理事長 白根壽晴)は、2020年8月4日～8月25日の22日間、「世界が認めるプロフェッショナルFPの証」であるCFP®認定者を対象に「新型コロナウイルス感染症によるFP実務への影響に関する意識調査」を実施し、983名の回答結果を集計しました。

同調査はCFP®資格を世界の生活者に一層信頼されるグローバル・ライセンスにすることを目的とした国際組織「FPSB」の加盟組織である「CISI (英国)」、「IFPHK (香港)」並びに「CFP Board (米国)」でも実施されており、比較可能な共通項目について付記しています。

## ■調査結果の概要(詳細は別紙)

## ◆顧客・生活者からの問い合わせ件数

「変化はない」との回答がそれぞれ 39.9%・48.5%とトップ。一方、「大幅に増えている+少し増えている」も 35.7%・34.3%と同程度の回答があった。

## ◆顧客数の変化

「変化はない」との回答が 52.8%と過半数を占めた。

## ◆顧客が抱えるお金の心配事(上位3つまでを複数回答)

「失業や収入の減少(42.3%)」「資産運用・金融資産の運用(41.9%)」「事業などの資金繰り(39.7%)」が上位。

米国・英国では「資産を守ること・価格変動への対応」、香港では「失業や収入の減少」に高い傾向がみられた。

## ◆顧客のストレスレベル

「とても高い+高い」との回答が 79.1%と大勢を占めた。英国以外は概ね同様の傾向がある。

## ◆顧客に対して最優先で推奨している事項

「短期・長期の目標を見直す(20.1%)」「流動資産を確保する(18.6%)」「不安定さが解消するまでお金に関する重要な意思決定を行わない(16.9%)」の順で続く。日本では「流動資産を確保する」、米国・英国では「不安定さが解消するまでお金に関する重要な意思決定を行わない」、香港では「ポートフォリオのリバランスを行う」が高い。

## ◆「新型コロナウイルスの感染拡大を受け、より多くの人がお金に関する専門的なアドバイスを求めるようになるだろう」という意見について

「かなりそう思う+そう思う」との回答が 65.7%を占めた。各国とも概ね同様の傾向がある。

## ◆「このように先行きが見通せないなかにあっても、ファイナンシャル・プランを立てている人は、目標に向かって進展できる可能性が高い」という意見について

「かなりそう思う+そう思う」との回答が 75.2%と大勢を占めた。米国・英国では 90%を超えている。

## ◆CFP®認定者が実務上で直面している最大の課題

「顧客や生活者との、より頻繁なコミュニケーションの維持(19.8%)」、「電話や非対面式のビデオ会議による顧客との面談の実施(17.7%)」などが続く。米国では「顧客の感情」、英国では「新規顧客との関係確立」、香港では「景気後退の可能性を見越したプランニング」が高い。

## ◆CFP®認定者の仕事上の目標や個人的な目標の変化

「変化はない」との回答が 60.6%と半数以上を占めた。

## ◆本件に関するお問合せ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 伊藤・鈴木	TEL 03-5403-9742	FAX 03-5403-9795	E-mail info@jafp.or.jp
----	------------------------	---------------------	---------------------	---------------------------

※ CFP®、CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

## 特定非営利活動法人(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F

TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニユライフプレイス堂島5F

TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065



人生100年の家計戦略

## 【調査の実施概要】

- ・調査目的: 新型コロナウイルス感染拡大による CFP®認定者の実務への影響について情報収集を行い、今後の協会活動の参考とすること。  
なお、同調査は CFP® 資格を世界の生活者に一層信頼されるグローバル・ライセンスにすることを目的とした国際組織「FPSB (Financial Planning Standards Board Ltd.)」の加盟組織である、CISI (Chartered Institute for Securities & Investment・英国)、「IFPHK (Institute of Financial Planners of Hong Kong・香港)」並びに「CFP Board (Certified Financial Planner Board of Standards・米国)」でも実施されており、比較可能な共通項目について付記した。
- ・調査対象: 調査開始日時点で協会にメールアドレスを登録している CFP®認定者
- ・調査地域: 全国
- ・調査方法: インターネット調査(Google フォームを利用)
- ・実施期間: 2020年8月4日(火)~2020年8月25日(火)
- ・メール配信数: 21,677 サンプル ※2020年8月1日現在の CFP®認定者 23,245 名の 93.2%
- ・回答数: 2,055 サンプル(メール配信数に対して 9.5%)、うち「自身の業務として顧客に対するお金のアドバイスを行っている」と回答した 983 サンプル(同 4.5%)を調査対象とした。
- ・調査主体: 特定非営利活動法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 広報部調査研究課

## 【調査結果の概要】

### ◆顧客・生活者からの問い合わせ件数

⇒「変化はない」との回答がそれぞれ 39.9%・48.5%とトップであったが、一方で「大幅に増えている+少し増えている」との回答もそれぞれ同程度の 35.7%・34.3%であり、金融市場の急変等を受け、ファイナンシャル・プランニング全般への関心が高まったことを示している。

### ◆顧客数の変化

⇒「変化はない」との回答が 52.8%と過半数を占めたが、「少し減っている+大幅に減っている」が 24.6%、「少し増えている+大幅に増えている」との回答も 22.5%と一定数みられた。

### ◆顧客が抱えるお金の心配事(上位3つまでを複数回答)

⇒「失業や収入の減少(42.3%)」「資産運用・金融資産の運用(41.9%)」「事業などの資金繰り(39.7%)」が上位を占め、以下、「家賃や住宅ローンの支払い(27.0%)」「退職に備えるための預貯金(21.4%)」が続いた。収入減・資金繰り・支払いなど切迫した問題に直面している事例が多いといえる。

### ◆顧客のストレスレベル

⇒「とても高い+高い」との回答が 79.1%と大勢を占め、前述の切迫した問題に加え、生活環境や金融市場等の変化に大きなストレスを感じていることがうかがえる。

### ◆顧客に対して最優先で推奨している事項

⇒「短期・長期の目標を見直す(20.1%)」「流動資産を確保する(18.6%)」「不安定さが解消するまでお金に関する重要な意思決定を行わない(16.9%)」の順で続き、長期的なライフプランニング上の目標と、顧客の短期的な不安解消を CFP®認定者がバランスよくアドバイスしていることがうかがえる。

### ◆「新型コロナウイルスの感染拡大を受け、より多くの人がお金に関する専門的なアドバイスを求めるようになるだろう」という意見について

⇒「かなりそう思う+そう思う」との回答が 65.7%を占め、「今後、お金に関する専門的アドバイスの重要性が高まる」との考えをもつ CFP®認定者が多いことがうかがえる。

### ◆「このように先行きが見通せないなかであっても、ファイナンシャル・プランを立てている人は、目標に向かって進展できる可能性が高い」という意見について

⇒「かなりそう思う+そう思う」との回答が 75.2%と大勢を占め、「ファイナンシャル・プランニングの有用性」を信念としてプランニングを行っている CFP®認定者が多いことがうかがえる。

### ◆CFP®認定者が実務上で直面している最大の課題

⇒「顧客や生活者との、より頻繁なコミュニケーションの維持(19.8%)」「電話や非対面式のビデオ会議による顧客との面談の実施(17.7%)」「景気後退の可能性を見越したプランニング(14.2%)」「リモートワーク(14.0%)」などが続き、ステイホーム下での顧客とのコミュニケーションを課題として挙げている CFP®認定者が多い。

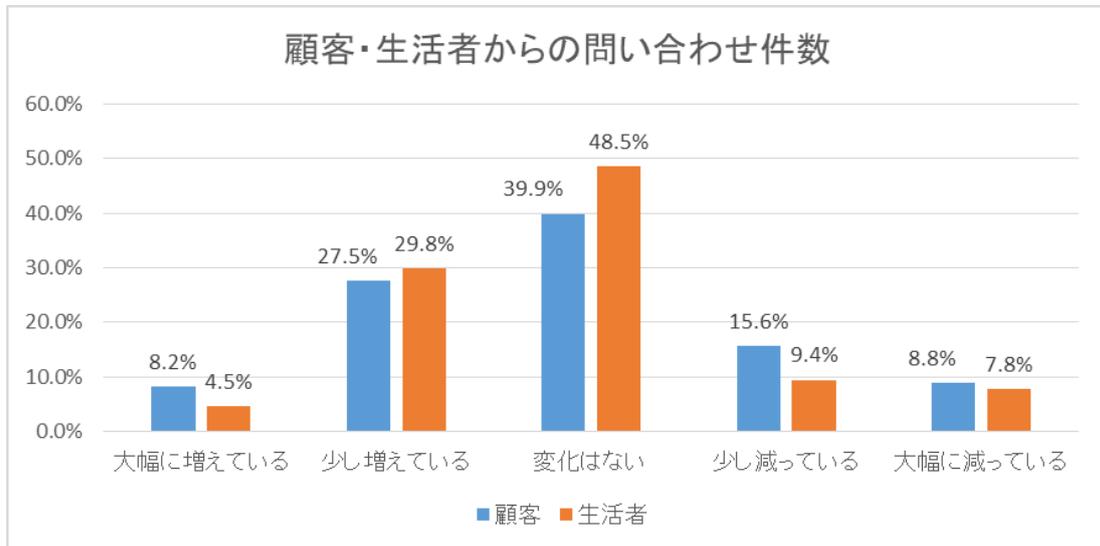
### ◆CFP®認定者の仕事上の目標や個人的な目標の変化

⇒「変化はない」との回答が 60.6%と半数以上を占めるが、「新たに教育を受けることを計画している(8.4%)」「金融サービス分野以外でのキャリアオプションを検討している(7.7%)」など、ウィズコロナを見据えたキャリア構築を計画している CFP®認定者もみられる。

### 【顧客・生活者からの問い合わせ件数】

Q. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「顧客からの問い合わせ件数」「生活者からの問い合わせ件数」に変化は見られましたか？

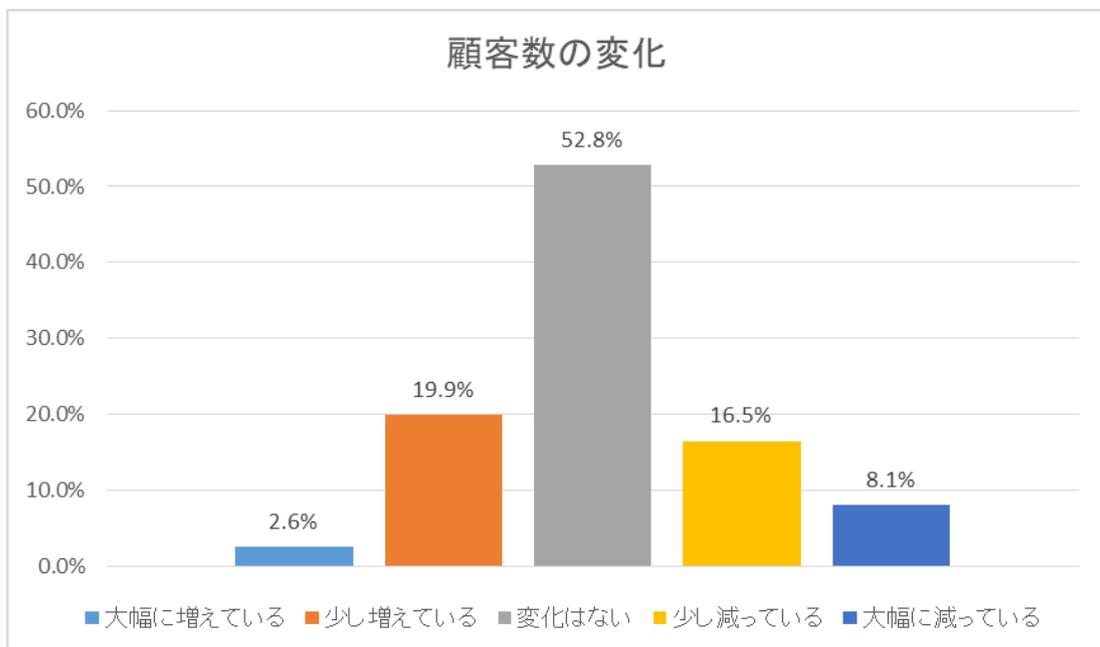
⇒ 「変化はない」との回答がそれぞれ 39.9%・48.5%とトップであったが、一方で「大幅に増えている＋少し増えている」との回答もそれぞれ同程度の 35.7%・34.3%であり、金融市場の急変等を受け、ファイナンシャル・プランニング全般への関心が高まったことを示している。



### 【顧客数の変化】

Q. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「顧客数」に変化は見られましたか？(1つのみ)

⇒ 「変化はない」との回答が 52.8%と過半数を占めたが、「少し減っている＋大幅に減っている」が 24.6%、「少し増えている＋大幅に増えている」との回答も 22.5%と一定数みられた。



## 【顧客が抱えるお金の心配事(上位3つまでを複数回答)】

Q. 新型コロナウイルスの感染拡大のなか、「顧客が抱えるお金に関する心配事」で、最も関心の高いことは何ですか？(上位3つまで)

⇒ 「失業や収入の減少(42.3%)」「資産運用・金融資産の運用(41.9%)」「事業などの資金繰り(39.7%)」が上位を占めた。収入減・資金繰り・支払いなど切迫した問題に直面している事例が多いといえる。

各国ともに概ね同様の傾向があるが、米国・英国では「資産を守ること・価格変動への対応」、香港では「失業や収入の減少」に高い傾向がみられた。

【顧客が抱えるお金の心配事(上位3つまでを複数回答)】

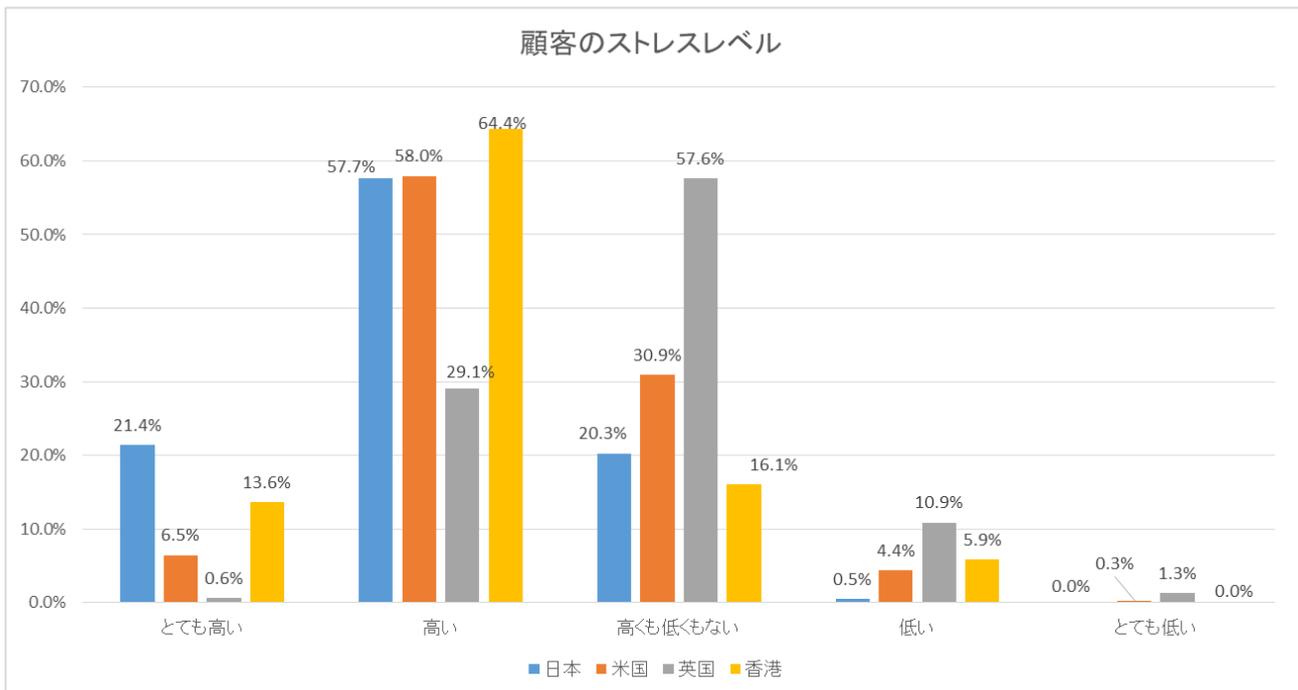
回答	日本	米国	英国(ランキング)	香港
退職に備えるための預貯金	21.4%	29.0%	3	2.8%
資産を守ること	41.9%	72.1%	2	19.2%
価格変動への対応		74.4%	1	17.5%
金利の低下		10.0%	5	2.0%
医療費	11.9%	3.2%	9	7.3%
税金	16.0%	9.2%	7	—
失業や収入の減少	42.3%	33.6%	6	23.5%
子供の教育費	14.1%	1.5%	10	0.6%
家賃や住宅ローンの支払い	27.0%	4.2%	12	3.7%
自動車や結婚式などの高額な出費	0.7%	3.4%	11	0.6%
高齢の親の世話	9.5%	2.7%	8	0.9%
借金	12.0%	6.0%	13	4.2%
事業などの資金繰り	39.7%	35.1%	4	17.8%
その他	7.2%	15.6%	—	—

※日本では「資産を守ること・価格変動への対応・金利の低下」を「資産運用・金融資産の運用」として質問項目とした  
また、英国は調査報告書原文の表記に基づき、ランキングとした

## 【顧客のストレスレベル】

Q. このように先行きが不透明ななか、「顧客のストレスのレベル」をどのように感じますか？

⇒ 「とても高い+高い」との回答が79.1%と大勢を占め、前述の切迫した問題に加え、生活環境や金融市場等の変化に大きなストレスを感じていることがうかがえる。英国以外は概ね同様の傾向であり、世界経済に与えた影響の大きさがあらわれている。



## 【顧客に対して最優先で推奨している事項】

Q. 現在、顧客に対して「最優先で推奨している事項」は何ですか？

⇒ 「短期・長期の目標を見直す(20.1%)」「流動資産を確保する(18.6%)」「不安定さが解消するまで、お金に関する重要な意思決定を行わない(16.9%)」の順で続き、長期的なライフプランニング上の目標と、顧客の短期的な不安解消を CFP®認定者がリバランスよくアドバイスしていることがうかがえる。

各国ともに概ね同様の傾向にあるが、日本では「流動資産を確保する」、米国・英国では「不安定さが解消するまでお金に関する重要な意思決定を行わない」、香港では「ポートフォリオのリバランスを行う」が高い。

### 【顧客に対して最優先で推奨している事項】

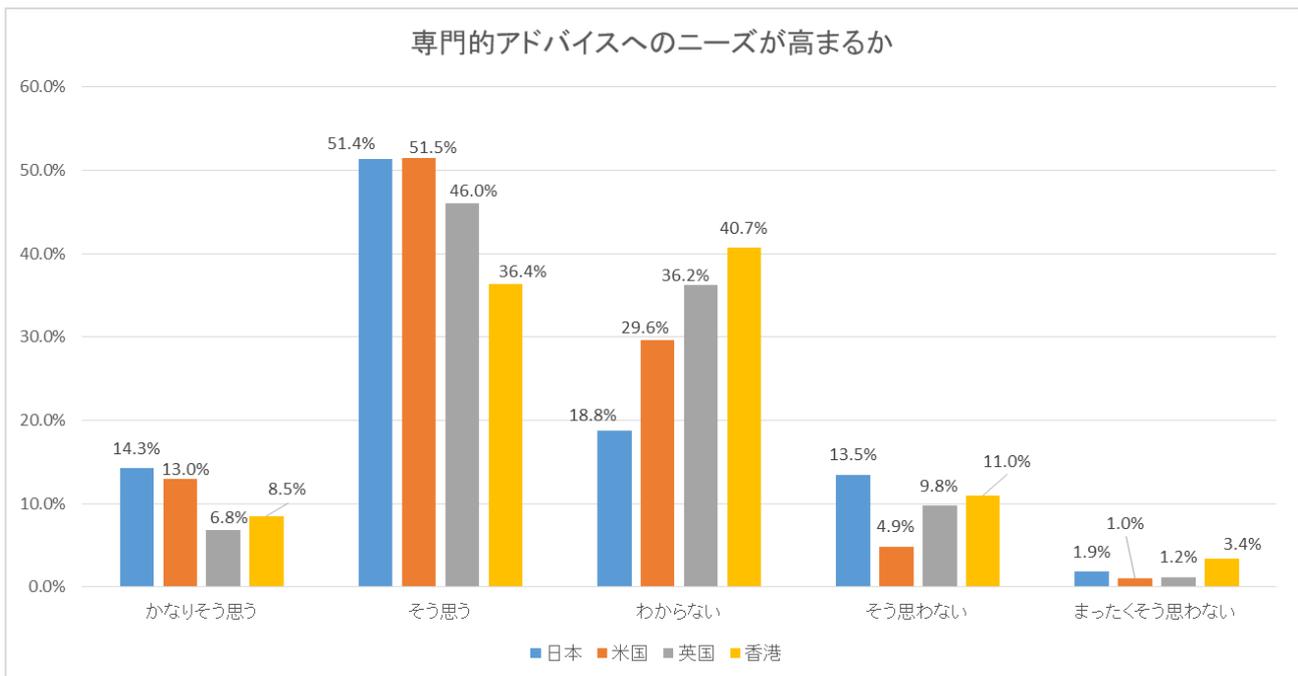
回答	日本	米国	英国	香港
不安定さが解消するまで、お金に関する重要な意思決定を行わない	16.9%	36.4%	50.0%	17.8%
短期・長期の目標を見直す	20.1%	16.1%	16.5%	26.3%
ポートフォリオのリバランスを行う	7.8%	16.6%	14.0%	24.6%
緊急時のための預貯金を増やす	10.7%	-	-	2.5%
保険を見直す	10.1%	-	-	7.6%
株式市場にもっと投資する	3.4%	6.5%	3.7%	3.4%
株式市場への投資を減らす	0.4%	-	-	1.7%
上昇が見込める・下落を回避できる投資オプションを探す	1.9%	3.4%	1.8%	7.6%
流動資産を確保する	18.6%	2.8%	-	1.7%
確定拠出年金や年金保険などへの掛け金を増やす	2.2%	-	-	0.0%
自分の判断で使える支出を減らす	-	2.9%	1.8%	6.8%
その他	7.9%	-	9.2%	-

※未設定の設問・未回答は「-」で表記した。また質問方式により合計が100%とならない場合がある

## 【専門的アドバイスへのニーズが高まるか】

Q. 『新型コロナウイルスの感染拡大を受け、より多くの人がお金に関する専門的なアドバイスを求めるようになるだろう』という意見について、どのように思いますか？

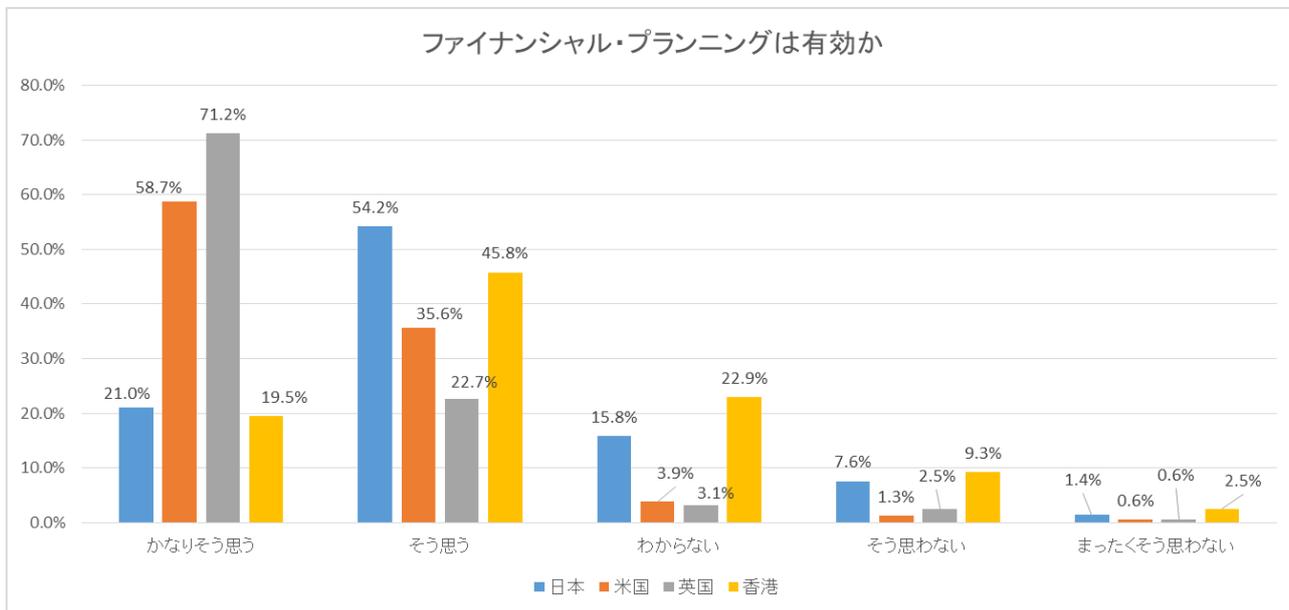
⇒ 「かなりそう思う+そう思う」との回答が 65.7%を占め、「今後、お金に関する専門的アドバイスの重要性が高まる」との考えをもつ CFP®認定者が多いことがうかがえ、各国ともに概ね同様の傾向がある。



## 【ファイナンシャル・プランニングは有効か】

Q. 『このように先行きが見通せないなかにあっても、ファイナンシャル・プランを立てている人は、目標に向かって進展できる可能性が高い』との意見について、どのように思いますか？

⇒ 「かなりそう思う＋そう思う」との回答が 75.2%と大勢を占め、「ファイナンシャル・プランニングの有用性」を信念としてプランニングを行っている CFP®認定者が多いことがうかがえる。  
各国ともに概ね同様の傾向があるが、米国・英国では 90%を超えている。



## 【CFP®認定者が実務上で直面している最大の課題】

Q. 新型コロナウイルス感染症の発生以来、「あなたが実務上で直面している最大の課題」は何ですか？

⇒ 「顧客や生活者との、より頻繁なコミュニケーションの維持(19.8%)」、「電話や非対面式のビデオ会議による顧客との面談の実施(17.7%)」「景気後退の可能性を見越したプランニング(14.2%)」「リモートワーク(14.0%)」などが続き、ステイホーム下での顧客とのコミュニケーションを課題として挙げている CFP®認定者が多い。  
各国ともに概ね同様の傾向にあるが、米国では「顧客の感情」、英国では「新規顧客との関係確立」、香港では「景気後退の可能性を見越したプランニング」が高い。

### 【CFP®認定者が実務上で直面している最大の課題】

回答	日本	米国	英国	香港
顧客からの大量の問い合わせ対応	3.6%	-	-	5.0%
リモートワーク	14.0%	8.5%	8.6%	8.0%
スタッフの(遠方からの)マネジメント	2.0%	-	13.5%	1.0%
電話や非対面式のビデオ会議による顧客との面談の実施	17.7%	10.7%	17.8%	16.0%
顧客や生活者との、より頻繁なコミュニケーションの維持	19.8%	17.6%	-	21.0%
顧客の感情	9.1%	17.2%	-	8.0%
新規顧客との関係確立	12.7%	13.1%	17.8%	16.0%
景気後退の可能性を見越したプランニング	14.2%	9.4%	-	19.0%
顧客のニーズと私自身/家族のニーズとのバランス	3.0%	10.3%	12.3%	4.0%
その他	3.9%	-	-	-

※未設定の設問・未回答は「-」で表記した。また質問方式により合計が100%とならない場合がある

## 【CFP®認定者の仕事上の目標や個人的な目標の変化】

Q. 新型コロナウイルス感染症の発生により、「あなたの仕事上の目標や個人的な目標」に変化はありましたか？

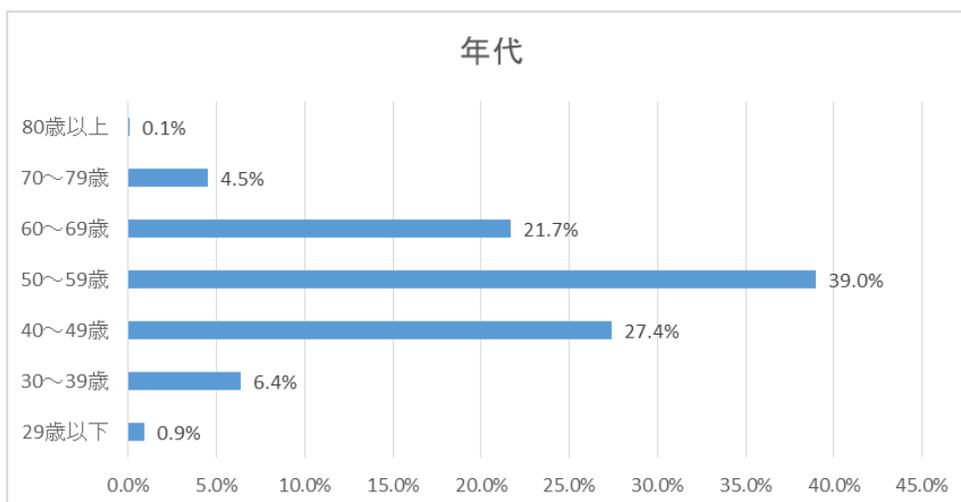
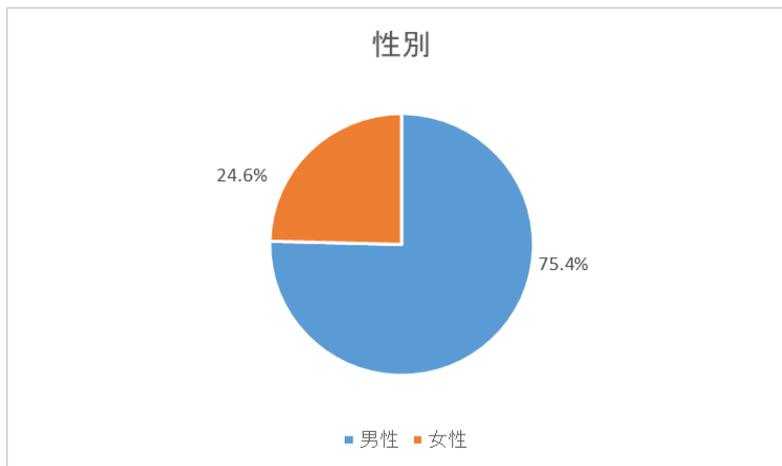
⇒ 「変化はない」との回答が 60.6%と半数以上を占めるが、「新たに教育を受けることを計画している(8.4%)」「金融サービス分野以外でのキャリアオプションを検討している(7.7%)」など、ウィズコロナを見据えたキャリア構築を計画している CFP®認定者もみられる。

各国ともに概ね同様の傾向にあるが、米国・英国では「変化はない」、香港では「家族や他の優先事項に集中するために仕事を縮小している」が高い。

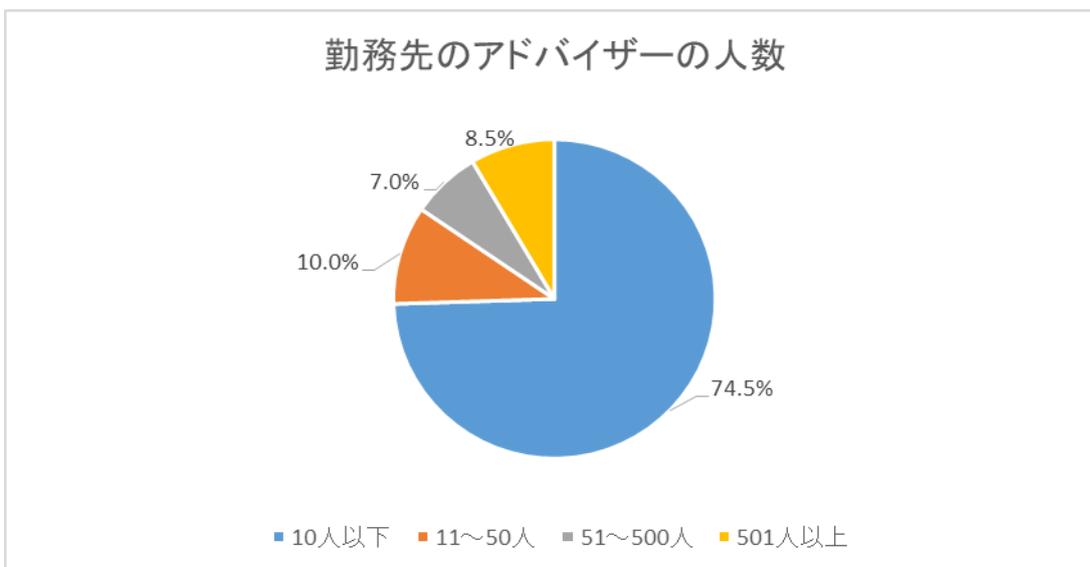
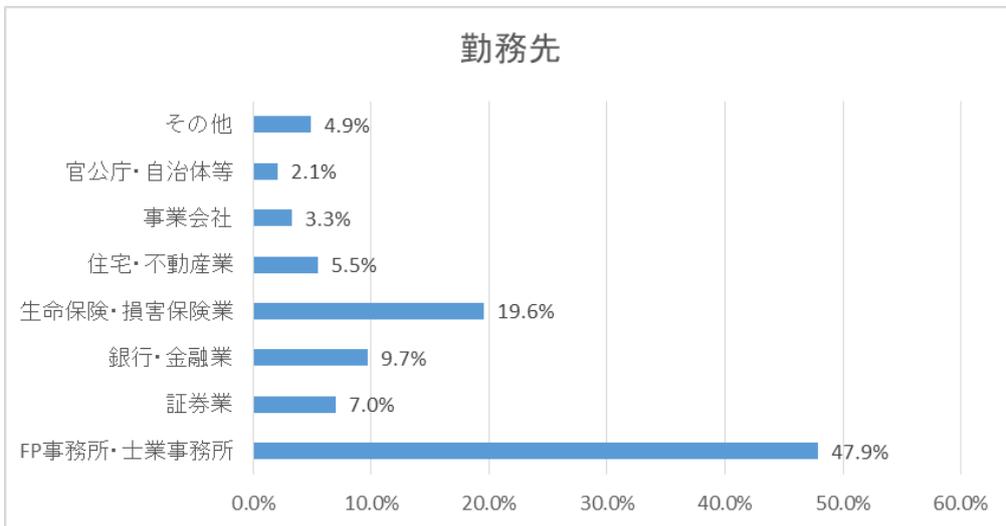
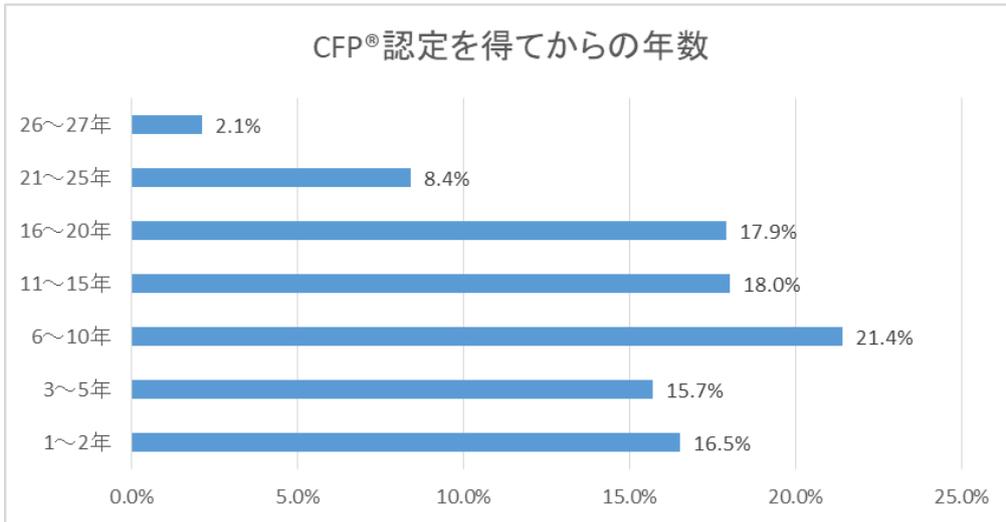
### 【CFP®認定者の仕事上の目標や個人的な目標の変化】

回答	日本	米国	英国	香港
変化はない	60.6%	79.0%	72.8%	32.0%
退職予定を延長し、もっと長く働くことを検討している	4.9%	7.0%	5.6%	17.0%
退職予定を早めることを検討している	3.1%	3.2%	4.3%	7.0%
金融サービス分野での新しい職を探している	3.4%	0.8%	0.0%	9.0%
金融サービス分野以外でのキャリアオプションを検討している	7.7%	0.8%	1.2%	9.0%
新たに教育を受けることを計画している	8.4%	3.2%	3.7%	7.0%
家族や他の優先事項に集中するために仕事を縮小している	7.6%	3.3%	7.4%	19.0%
その他	4.3%	5.8%	8.1%	-

### 【回答者(日本)の属性等-1】 n=983



【回答者(日本)の属性等-2】



**【参考】**

■CFP Board (Certified Financial Planner Board of Standards)

所在地: アメリカ合衆国 ワシントン D.C.

設立年: 1985 年

認定者数: CFP®認定者 86,378 名 (2019 年)

本調査の実施日: 2020 年 4 月 6 日~4 月 13 日

回答数: 1,078

■CISI (Chartered Institute for Securities & Investment)

所在地: 英国 ロンドン

設立年: 1992 年

認定者数: CFP®認定者 897 名 (2019 年)

本調査の実施日: 2020 年 5 月 18 日~5 月 29 日

回答者: 196

■IFPHK (Institute of Financial Planners of Hong Kong)

所在地: 香港

設立年: 2000 年

認定者数: CFP®認定者 4,377 名 (2019 年)

本調査の実施日: 2020 年 6 月 5 日~6 月 15 日

回答数: 118